

◆ほりもとちか 選 *滑稽俳句協会報七月号より

《思わず笑ってしまった句》

他所の庭に生えてれば好き夏の草 南とんぼ

牧野富太郎さんが好きで、毎日、NHKの朝の連続テレビ小説「らんまん」を必死で観ています。子どもの頃から草花は好き。稲畑汀子先生も「醜草しこぐさという名の草は有りません」といつもおっしゃっていました。吟行の時には「歳時記になくても、季節に合っていないくても、現場で見つけた草花で作句していいですよ」と教えてくださいました。

雑草の個性かがやく五月かな 南とんぼ

でしょうね。五月は。日射しも、青葉若葉も。道端の草もキラキラ、キラキラ。

歩き出す心に春のシャツ着せて 吉川正紀子

「心に春のシャツ着せて」というのが好き。ルンルンしますよね。スキップして歩いていたらスッテンコロリ、なーんてことにならないように。

ありがとう山の日の山海の日の海 金城正則

「母の日の母」「父の日の父」「子どもの日の子ども」など、なんぼでも出来そう。楽しいやり方を発見。ブラボーッですネ。

薄紫はなおうち花棟から吹く風は 渡部美香

おうち、梅檀の花は、子どもの頃から好きな花でした。消えてしまいそうな細かな花。確か、かすかないいい香りがしたと覚えています。近所にあった木は、地震の後、切り倒されて久しく見ることも嗅ぐこともなくなりました。

春ファッション百円ショップの品揃え 池田亮二

百円ショップをバカにははいけません。なんでも揃いますヨ。百円ショップ愛好家です。

母の日の三者三様プレゼント 石塚柚彩

子どもからプレゼントをもらえなくても、生きてさえいてくれたら、それが最高のプレゼントなんですけどね…。「生きてたら何呉れるかな母の日に」。

亀鳴くや質問ばかりする子ども 稲沢進一

十薬や人を信じて疑はず 稲沢進一

こんな子どもがいたら大、大、大好き!! こんな子に育てたいです。

自転車をこぐや縹雲つれて 上山美穂

ついて来てくれるんですよ。どこ迄も。お日さまも春風も、遠くの虹も。ずーっと、ずーっと。いつの間にかサイクリング仲間もこんなに増えて、自転車で走れば一人ではなくなるヨ。

歌にある百万本の薔薇見たい 門屋 定

全く同感。どんなに爽快でしょうか。あー、見たい、見たいー。

夏の海心中するにはもったいない 久我正明

というより死ねないでしょう。凍えそうな冬の海でないと。夏の海だったら気持ちよくて泳いでしまいそう。

子の部屋の主は我ぞと守宮鳴く 白井道義

昆虫大好きのうちの息子達が居なくなったら、きっと守宮が留守番してくれるかな。イイネ。

ハトせつせと拾うサミット後のくず 鈴木和枝

後始末してくれるのは、ハトくらいのもんです。ハトに感謝。

バナナ喰ふ裏も表もなき人と 竹下和宏

こんな人と一緒なら、バナナどころか何を食べても美味しいのなんのって。食べ過ぎたら、ライザップに通わなくっちゃ。

金魚にも一声かけて外出す 田村米生

留守番の愛猫ビビには必ず「いい子にして待っててネ」と言いきかせて句会に出かけます。帰宅したらいつも爆睡してはります。ビビは。

味方には到底見えぬサングラス 西野周次

でも、味方につけたら天下無敵かも。

好きな子の風下が好き扇風機 花岡直樹

どんないい匂いがするんだろう? ずーっとそのまま居りたいヨー。

夏瘦は昔のことよ夏ぶとり 久松久子

ほんと、年を取るってこういうことなのよ。

紫陽花も地球も丸し水滴も 日根野聖子

そして、聖子も丸い。身も心も？

緑蔭に遊ぶや妖精に誘はれて 相原共良

私も美しい乙女のニンフに誘われて森の奥深くへ、そのまま消えてみたいで
す。

見えねども夏の季語感紫外線 八木健

切れ味がたちまち捌く初鱈 八木健

温暖化で、熱中症と共に日焼は大敵です。小学生の頃から魚を捌くのは得意
でしたのヨ。ただし、鯛とかは力が要るので今はダメかも。

漬物の胡瓜「し」や「へ」や「く」や「つ」の字 山内 更

全くもってそうです。その通り。

世の中をモノトーンにするサングラス 横山洋子

汚れた彩は見たくないから、その方がベターかもしれません。